

コロナ危機のりこえ
新しい政治を

Speech



書記局長・参議院議員

小池晃



衆院議員
塩川鉄也



前・衆院議員
梅村さえこ



党茨城県副委員長
大内くみ子

日本共産党 北関東ブロック
オンライン演説会

5月2日 日 午後2時



「YouTube 日本共産党北関東」で検索 <https://youtu.be/GSt2F97PckA>
「チャンネル登録」も、ぜひお願いします

お近くの視聴会場をご紹介します。 また、ご自宅でも小池さんの話が聴けます。

大規模検査を 封じ込めのため

16日、日本共産党の小池晃書記局長は、参院予算委員会中央公聴会で、志位和夫委員長が政府に申し入れた「緊急要請」を「緊急要請」を示して公述人に見解を求めました。

政府の新型コロナウイルス対策本部部分科会の尾身茂会長は、

①、重症化リスクの高い場所への社会的検査は「感染対策の上で非常に意味がある」

②、モニタリング



(写真) 西村康稔経済再生担当相に要請書を手渡す志位和夫委員長と田村智子政策委員長

日本共産党ー全国で運動

緊急要請の内容

① 高齢者施設等への社会的検査を医療機関、障害福祉施設などにも広げ、職員に対し頻回・定期的(週1回程度)に行い、対象を利用者にも広げ、感染防御をはかること、② モニタリング検査を「1日10万」の桁で大規模に行い、感染封じ込めをはかること、③ 変異株の疑いを確認する検査の割合を大幅に引き上げること。

尾見会長ら、小池質問に多くの点で同意

参院予算委中央公聴会

検査「1日10万件」

③、変異株を確認する「国が高い目標を持つて決意を示してやるのが重要」

「国が術的には可能」と述べるなど、多くの点で一致しています。

志位委員長が政府に緊急要請

12日、日本共産党志位和夫委員長は、政府に対し、新型コロナウイルス感染症封じ込めのため、大規模検査を行うよう要請しました。

田村智子政策委員長が同席。

「デジタル関連5法案」が9日衆院本会議で審議入り。
日本共産党の塩川鉄也議員が質疑に立ちました。

個人データ 不利益利用も 行政サービス充実こそ

塩川 鉄也
衆議院
議員が
質疑

ねらいは、個人データの活用と、「マイナンバー制度の利用の拡大」です。地方自治体を国の「端末」に変質させ、国民の所得・資産・医療・教育などをまるごとスキャンし、膨大なデータの集積、情報を一元管理しようとしています。

個人情報保護の仕組みこそ必要

なかでも、重大なのは法案の基本理念に「個人情報保護」の言葉がない事です。プライバシー権は憲法が保障する基本的人権の一つです。人権保障を軽視し、国と企業の個人データの利活用を推進する「デジタル法」。個人情報保護の仕組みこそ必要です。



(写真) 質問する塩川鉄也議員9日、衆院本会議

(写真) 質問する山添拓参議院議員15日参院予算委

NTT、武田総務相接待 まさに「ズブズブの関係」

15日参院、16日衆院、の両予算委員会
で東北新社の中島信也社長、NTTの澤田純社
長を参考人として呼び、集中審議されました。

しかし、NTTが官僚だけでなく、歴代の総
務大臣経験者、自民党の野田聖子幹事長代行、
高市早苗衆議院議員のみならず、現職の武田
良太総務相も接待を受けていたと「週刊文春」
が新たに報じるなど、まさに、総務省接待問
題は「底なしの様相」となりつつあります。



食はない』と判断するのは国会です。

また、「放送・通信事業を監督する総務省が利害
関係が明らかなNTTの社長から高額接待を受け
ること自体が問題です。」「行政をゆがめたことは
ないのか、」疑いは深めるばかりです。

揺らぐ答弁の信頼性― 「高額接待自体」が問題

武田良太総務大臣は11日参院予算委員会
で日本共産党の岩淵友議員の質問に「国民か
ら疑念を招くような会食や会合に応じたこと
はない」とくり返し、まともに答えませんで
した。しかし、『大臣規範に抵触するような会

背景に菅、看板政策、

なぜ、総務省がここまで通信・放送業界とズブ
ズブの関係になったのか。背景に、菅義偉首相の
看板政策を強力に推し進める中で癒着を深めた疑
いがあります。真相解明へ菅首相自身の責任が問
われています。